

みなと区議会だより

港区議会
〒105-8511(専用郵便番号)
港区芝公園1-5-25
電話 (3578)2111(代)
発行部数 126,100部

2001年(平成13年)7月15日

http://www.city.minato.tokyo.jp/gikai



第2回定例会

6月5日～6月14日

平成13年第2回定例会は、6月5日から14日までの10日間わたって開会されました。まず、7人の議員から区長及び教育長に対して、代表・一般質問が行われました。質問は、お台場の海の浄化、学校教育の充実、緊急ショートステイ、循環型社会、給食調理の民間委託、能力給の導入、手話講習会の移管など区政全般にわたりました。(要旨2面～3面) そのほか区長から提出された案件を審議した結果、条例など9件を原案どおり可決・承認しました。皆さんからの請願は、27件を継続審査としました。議員提出による案件は、ハンセン病問題の早期全面解決を求める意見書を関係機関へ送付したほか、条例案1件を継続審査としました。(4面掲載) また、本会議において、鈴木たけし議長及び滝川嶂之副議長の辞職を許可した後選挙を行い、後任者として議長に島田幸雄議員、副議長に渡辺専太郎議員を選出しました。なお、議会選出監査委員については北村利明議員の選任に同意しました。

新しい議長・副議長が決まりました

港区立公共駐車場条例を可決

ハンセン病問題の早期全面解決を求める意見書を提出

就任のあいさつ



議長 島田幸雄



副議長 渡辺専太郎

この度、伝統ある港区議会において、議長、副議長に選任されました。

その職責の重さを痛感し、皆様の期待に添うべく全力で取り組む決意を新たにしているところであります。

さて、区政を取り巻く状況は、地方分権の進展や介護保険制度の導入など新たな行政需要が増加し、ますます多様化、複雑化する傾向にあります。このため、区民ニーズを反映させた先駆的な施策や地域特性に応じた独自の施策を積極的に展開していくことが求められております。

このような状況の中、区は21世紀の港区を見据えた基本構想の改定に着手しております。

区議会は、区民福祉の増進を目標に、施策の効果が最大限得られる効率的な区政運営となるよう注意深く見守り、区民の代表としての議決機関の責任を果たしてまいります。

今後とも、港区発展のため、議員各位とともに努力してまいりますので、区民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

●第2回定例会会議日程●

- 6月5日 運営委員会 本会議
会期決定 諸報告
- 6日 運営委員会 本会議
一般質問3名
- 7日 本会議
一般質問4名
- 11日 運営委員会 本会議
議案等付託
- 12日 常任委員会
議案等の審査
- 13日 総務、建設、区民文教常任委員会
議案等の審査
- 14日 常任・特別委員会
委員長報告、中間報告
- 運営委員会 本会議
議案等議決
- 議長・副議長の辞職許可並びに選挙

【議会人事の動き】

◎党派結成

6月14日に新党派「自民党維新の会」が結成されました。(所属議員/川村蒼市、きたしる勝彦、岸田東三、鈴木洋一)

◎議員の党派異動

6月14日に井上しげお議員は「港区の元氣会」から「自民党議員団」へ党派を異動しました。

◎党派の構成人数

党派の結成等に伴い、各党派の構成人数は左記のとおりとなりました。

自民党議員団	8人
港区民クラブ	8人
共産党議員団	7人
公明党議員団	5人
自民党維新の会	4人
みなとかがやき	2人
一票の会	1人

ア

サリで水質浄化／お台場の海を潮干狩りや海水浴ができる海に



▲お台場の海でアサリの生息調査を行う職員

自民党議員団

化の調査結果を踏まえて、効果が大いと言われる二枚貝の放出を検討したい。併せて遊漁船や屋形船の影響による水質汚濁の有無についても調査していきたい。

付置住宅制度の見直しについて

質問 建物の用途が業務と住宅とに混在する付置住宅は、事業者には様々なデメリットをもたらす。一方的に業者に負担を強いるのはどうか。見直し策として、(1)事業者が区の住宅事業に資金負担等で参加すること、付置住宅とみなす。

港区の再開発のポイントについて

質問 民間による最初の大规模都市再開発であるアークヒルズは、15年経った今でも町の基盤整備に努めている。自治会というコミュニティを通じて、地元住民と店舗・企業が共同して街づくりをしていく。港区の今後の再開発について、そのポイントを伺う。

福祉人材バンクについて

質問 これからの地域福祉向上に向けて、港区福祉人材バンクを作り、意欲があり福祉への適性を持つ人材を積極的に確保するべき。

港区の環境浄化対策について

質問 5月23日の夜、六本木地区で地域住民と麻布警察、港区が協力していわゆる「ピンクチラシ対策」を実施した。我が会派としてもこの問題に積極的に取り組んできた。今後より一層区と共同して問題解決に当たりたい。参加した区長の感想と今後の取組方法について述べてほしい。

学校選択制の導入について

質問 学校現場の閉鎖性を打破し、意識改革につながるこの制度を、品川区での事例を参考に、港区にふさわしい「選択制導入」を検討すべき。

ケアマネジャーについて

質問 和歌山市でケアマネジャーによる殺人事件があった。この事件を港区ではどう受け止めるか、区民の不安を解消するため今後に向けてどう取り組むのか。またサービスの質の向上をどう進めるか。

港区民クラブ

質問 (1)学校でのIT活用は、情報リテラシーの育成・授業方法の改善・インターネットの活用等を重視。さらに、地域との交流・連携に発展するよう積極的に推進する。(2)ITは、ひとり一人の能力・適性や個性に合わせた指導が可能など、効果的な手法と考

代表

6月6日・7日

一般質問

(要旨)

質問 我が会派はかねてより、「お台場の海を潮干狩りや海水浴ができる海にすべき」と主張してきた。去る5月25日東京都水産試験場と港区と合同で、アサリなど二枚貝の生息調査が実施された。「東京都環境科学研究所」の調査によると、二枚貝が1年間に海水をろ過する量はアサリ1個で4トン以上、ムラサキ貝では約73トンと推定されている。このように海水から多量の懸濁物を取り除く能力は、海水の浄化に極めて重要な役割を果たしていると言える。今後

も東京都と共同して水質浄化にあらゆる手段を講じるべき。質問 今回のお台場での水質浄

取組としては、各地区の環境美化・浄化推進協議会等と連携するとともに、関係区と協力し、都条例の厳正な適用や罰則の強化を関係機関に働きかけた。

ケアマネジャーについて

質問 和歌山市でケアマネジャーによる殺人事件があった。この事件を港区ではどう受け止めるか、区民の不安を解消するため今後に向けてどう取り組むのか。またサービスの質の向上をどう進めるか。

福祉人材バンクについて

質問 これからの地域福祉向上に向けて、港区福祉人材バンクを作り、意欲があり福祉への適性を持つ人材を積極的に確保するべき。

港区の環境浄化対策について

質問 5月23日の夜、六本木地区で地域住民と麻布警察、港区が協力していわゆる「ピンクチラシ対策」を実施した。我が会派としてもこの問題に積極的に取り組んできた。今後より一層区と共同して問題解決に当たりたい。参加した区長の感想と今後の取組方法について述べてほしい。

学校選択制の導入について

質問 学校現場の閉鎖性を打破し、意識改革につながるこの制度を、品川区での事例を参考に、港区にふさわしい「選択制導入」を検討すべき。

ケアマネジャーについて

質問 和歌山市でケアマネジャーによる殺人事件があった。この事件を港区ではどう受け止めるか、区民の不安を解消するため今後に向けてどう取り組むのか。またサービスの質の向上をどう進めるか。

福祉人材バンクについて

質問 これからの地域福祉向上に向けて、港区福祉人材バンクを作り、意欲があり福祉への適性を持つ人材を積極的に確保するべき。

港区の環境浄化対策について

質問 5月23日の夜、六本木地区で地域住民と麻布警察、港区が協力していわゆる「ピンクチラシ対策」を実施した。我が会派としてもこの問題に積極的に取り組んできた。今後より一層区と共同して問題解決に当たりたい。参加した区長の感想と今後の取組方法について述べてほしい。

学校選択制の導入について

質問 学校現場の閉鎖性を打破し、意識改革につながるこの制度を、品川区での事例を参考に、港区にふさわしい「選択制導入」を検討すべき。

チーム T と IT を活用し、開かれた港区の教育を一層充実させよ

を考える委員会」で、通学区の自由化など魅力ある学校教育のあり方と特色ある学校づくりについて検討し、推進していく。

港区民クラブ

質問 (1)学校でのIT活用は、情報リテラシーの育成・授業方法の改善・インターネットの活用等を重視。さらに、地域との交流・連携に発展するよう積極的に推進する。(2)ITは、ひとり一人の能力・適性や個性に合わせた指導が可能など、効果的な手法と考



▲地域の教育力を生かした学校教育の推進

質問 先送りされてきたペイオフが来月4月から順次実施される。解禁後は、自己責任が問われる時代となる。金融の

情勢によっては、金融機関の破綻は突然襲ってくる。区の対応を伺う。

医療 療処置も含む緊急対応のショートステイ事業の制度化を

質問 (1)高齢者の住宅改修は、高齢者住宅改修で介護予防を、

共産党議員団

質問 在宅介護では、介護者の急な病気や葬祭出席等で一時的に介護ができない状況が生じ、緊急時対応が不可欠。千代田区が23区では初めて「緊急ステイ利用支援事業」を4月より開始した。医療処置の必要な方も利用できる緊急対応のショートステイ事業を早急に行うべき。

(2ページ下段より続く)

の利用料は全額免除すべき。
(4) 介護サービス利用料の減額・免除については、全ての介護サービスを対象とすべき。

(5) 国や東京都に対しても保険料・利用料の減額・免除策を

実施するよう求めるべき。

答弁 (1) (4) 鋭意検討している。具体的回答はしばらく待って欲しい。(5) 全国一律の基準による低所得者対策の実施を引き続き国に要望していく。

三田一丁目の街づくりについて

質問 (1) 第一種市街地再開発事業が計画されている2地区内からも反対の意見が68通で、地区内地権者の1/3を超える方から反対や拙速に決定しない旨の意見が寄せられた。議会への約束どおり住民合意ができるまで「東京都計画地区計画」について告示を行うべきではない。(2) これまでの議会答弁を基本に、全ての情報を提供し、住民主体の住み続けられる街づくりになるよう区の責任を果たすべき。

答弁 (1) 告示は、多くの方々のご理解をいただきながら、行

つていく。(2) 引き続き、街づくりの情報を提供するとともに、関係住民との話し合いを重ね、合意形成に努めていく。

がま池を守ることに

質問 (1) 港区に残された貴重な自然、旧跡に匹敵するがま池を残すために、区自らが保存するための手だてを講ずることも含め、最大限の努力をすべき。(2) 事業者に対して、4者協議の一員として、円満な解決に努力するよう強力に指導すべき。

答弁 (1) がま池と自然環境保全の方途について、最大限の努力をしていく。(2) 今後とも事業者に対し、4者協議の一員として、性急な行動は差し控え、円満解決に協力するよう、一層の指導に努めていく。

中小企業振興策について

質問 (1) 小泉首相の「不良債権を最終処理」では多くの中小企業がつぶされ、100万人以上もの失業者が増えるといわれている。区内金融機関に対し、強制的な取り立て、回収を行

われないよう申し入れをすべき。(2) 緊急特別枠融資を今すぐ実施すべき。(3) 中小企業の実態をつかみ、予算の増額や体制の強化をすべき。

が不可欠。(3) 耐震改修の融資あつせんの実施を。

答弁 (1) 改訂を検討する。管理組合等への支援については、都と連携し、積極的に取り組む。(2) 周知徹底するよう指導する。(3) 可能性を検討する。

被害深刻「内職・モニター商法」

質問 不況を利用した悪質商法が横行し、区消費者センターへの相談件数も二、三十代を中心に急増している。トラブルに巻き込まれないために消費者問題の普及・啓発を。

答弁 消費者が正しい知識・情報を持ち、判断力を向上させることは、消費者センターの大きな役割。今後、準備中の「商工ネット」に相談事例を掲載するなど、適時適切な情報提供に力を注ぐ。

質問 (1) 区長「民間委託の確かな推進が必要で、教育委員会の検討状況を踏まえ対応する。(2) 食教育に重要な役割を果たし、学校手作りは保護者の信頼も得ている。よって、当面現行の運営を維持する。一方、民間委託により危惧される課題はなくなってきたとおり、委託も含め引き続き検討する。

駐車場経営に関わりすぎると

質問 (1) 定年退職した職員が公共駐車場を経営する外郭団体の専務取締役に就任した。民間的発想による経営に移行しようという趣旨に反する。(2) 新たに開設する品川駅前公共駐車場も外郭団体に経営を委託することになる。外郭団体(第三セクター)のあり方について検討している最中の決定は問題がある。駐車場経営は行政本来の役割とは言えず、民間に任せざるべき。

答弁 (1) 当面必要な人材確保であり、来年度以降は新たな経営体制を目指す。(2) 駐車場運

学

校給食を正規職員で調理する必要はあるのか?

みなとかがやき

営に公的関与が必要な場合もあり、駐車場行政の一翼を担う使命を持った外郭団体を活用することは最適な方法。



能力給の導入について/住民基本台帳ネットワークの必要性/ペットボトル問題

港区の元氣会

質問 (1) 年功序列を廃し、能力給を導入することへの見解は。(2) 住基ネットには懸念を持つ人が多い。しかし、真に区民のためになるのは個人情報保護しつつ、住基ネットに伴う行政サービスのIT化を進めることではないか。まず区民の理解を得る事から始めるべき。(3) 港区社会福祉協議会1階に置かれたペットボトル回収機は、1つ入れると4円の寄付がたまる仕組み。機械代・回収等はすべてメーカー負担で賄われる。全国初の寄付形式の試みは賛同も多いが、ペット自体なくさなければという意見もある。見解は。

答弁 (1) 能力や業績が正しく評価される制度が必要。(2) すべての区民がIT社会の便益を等しく享受できるように対応が必要。PRに努める。(3) 発生の抑制への対応も必要。事業者の自主回収促進を要望する。

社会福祉協議会事業となつた手話講習会/福祉会館長の餞別金/放置バイク問題

一票の会

質問 (1) 手話講習会は、聴覚障害者の社会参加、情報の共有化を目的としている。その運営が、聴覚障害者協会との協議もなく一方的な通知によって運営方式が変更された。①区は直接事業を実施すべきだ。②検討会方式に移行した説明責任を果たせ。③事業主体を運営委員会方式に戻すべき。(2) X福祉会館では館長の異動や退職の際、利用者から餞別金を求めているとの情報がある。事実関係を調査し、区民に明らかにすべき。(3) 歩道上の放置バイクは大変危険。区は警察と連携し事業者を啓発、指導すべき。さらに、罰則規定など規定を整備すべきだ。

答弁 (1) ①社協での運営が適切。②受講生等の要望で検討会に移行した。③社協が個人団体の協力のもと講習会を自主的、主体的に運営している。(2) 餞別金の高額な負担はなかったが、金銭の授受は不適切。職員への指導を徹底する。(3) 駐車場確保の指導をする。また、罰則規定は困難だが、警察署に取締り強化を要請する。

た

ゆみなき努力と創意工夫で、循環型社会の実現を!

公明党議員団

環境ISO認証取得後の対応

質問 環境ISOは認証を取得する事が目的ではない。計画↓実施↓点検と是正↑見直し、のサイクルによる継続的な改善がきちんと行われる事が重要なのだ。今後の運営は、

答弁 認証取得は環境マネジメントシステム運営のスタート

分譲マンションの修繕対策

質問 区調査によると、区内には昭和56年の新耐震基準適用以前に建てられたマンションが数棟ある。これらの古いマンションほど高齢者が多く、管理組合が少なくことがわっている。(1) 以前発行した修繕や修繕計画・管理運営に関する手引書を、新法に対応し、かつ都心区の実態に即したものに改訂すべき。また、窓口相談のみならず、出前講座や、積極的な働きかけも必要。(2) マンション販売業者等へ管理組合設立を指導徹底すること

教育改革/自ら学び、考える力



▲衛星通信を利用した「子ども放送局」

質問 (1) 来年度開始の「総合的な学習の時間」へ向けた取組。(2) 魅力ある学校づくりのため、「学校管理運営規則」を見直し学校の決定権を拡大すべき。(3) 衛星通信を利用した「子ども放送局」を港区でも実施を。

答弁 (1) 職業体験など様々な試行に取組んでいる。また、小・中学校全学年で外国人による英会話学習を開始した。(2) 必要に応じて見直す。(3) 総合的に事業の効果等を検討する。

駐車場経営に関わりすぎると

質問 (1) 定年退職した職員が公共駐車場を経営する外郭団体の専務取締役に就任した。民間的発想による経営に移行しようという趣旨に反する。(2) 新たに開設する品川駅前公共駐車場も外郭団体に経営を委託することになる。外郭団体(第三セクター)のあり方について検討している最中の決定は問題がある。駐車場経営は行政本来の役割とは言えず、民間に任せざるべき。

答弁 (1) 当面必要な人材確保であり、来年度以降は新たな経営体制を目指す。(2) 駐車場運

能力給の導入について/住民基本台帳ネットワークの必要性/ペットボトル問題

港区の元氣会



◆議案等の審議結果 各会派の態度 ○…賛成 ×…反対

Table with 10 columns: Case Name, Self-Member, Club, Communist, Public, Minato, One-Person, Council, Decision. Rows include various budget and ordinance items.



区民のみなさんから 出された請願について

継続審査とした請願

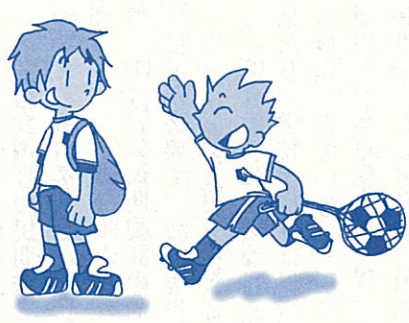
- List of petitions including '東京都市計画芝公園整備事業計画', '地下室建造未調査に対する行政の調査', '芝公園の福祉施策の見直し', etc.

取り下げられた請願

- List of withdrawn petitions including '港区における「区立幼稚園適正配置計画の見直し」に関する請願'.

継続審査とした案件

- List of continued review cases including '東京都港区保健福祉オンブズパーソン条例'.



意見書を提出しました

「らい予防法」による隔離政策により、基本的人権を侵害されたとして、平成十年七月にハ...

よって、港区議会は、今後国の法的責任に基づき、国の真摯な謝罪、名譽回復措置と損害賠償、在園保障・退所者支援などの恒久対策、真相究明と再発防止、被害者団体等との継続協議の場の設定など、原告をはじめとする全被害者の人権回復を内容とする全面解決を早期に図ることを強く求めるものであります。

各会派の連絡先

Table listing contact information for various political parties and groups, including phone numbers.

不在の場合は区議会事務局 (3578) 2920 へ

「らい予防法」による隔離政策により、基本的人権を侵害されたとして、平成十年七月にハ...

あとがき

表紙の写真は、6月10日行われた「港区ふれあいウォーク」の様子です。

編集委員

- List of editorial board members: 渡辺 専太郎, 清水 一郎, 水野むねひろ, 小野 太三郎, 岸田 東三郎, 星野 高史, 遠山 高史.